

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年 7月26日更新

事務事業名		環境整備事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部	都市建設部	課長名	米澤俊一
	施策	5	道路ネットワークの充実			所属課	建設課	担当者名	管澤秀一
	基本事業	15	適正な維持管理の推進			所属班	管理計画班	(内線)	2272
予算科目		会計一般	款 8	項 2	目 2	事業連番 10109	法令根拠	成果優先度評価結果	⑤
終了、開始年度		<input checked="" type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	道路の除草、側溝の浚渫道路の草刈をしてほしい、側溝をきれいにしてほしいという住民からの要望以前よりも住民からの要望は増えている
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	道路除草(苦情、要望箇所の現地確認、設計、シルバー人材等への委託、確認検査、支払い) 側溝浚渫(見積→単価契約→発注→確認検査→支払い)
【主な予算費目】	役務費、委託料
【意見や要望】	もっと、除草、浚渫をする箇所を増やしてほしい
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 22年度実績(22年度に行った主な活動)(DO)	道路の除草を委託しました。側溝の浚渫を委託しました。	23年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 道路維持管理事業へ統合。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) m	予算の主な増減の理由 道路維持管理事業へ統合。
→ア: 除草延長		
→イ: 浚渫箇所数	箇所	
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	道路	②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) m
		→ア: 道路延長
		→イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	安全な道路の維持	③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) 件
		→ア: 苦情件数
		→イ: 対応率 %
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠		

(2)各指標・総事業費の推移		単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込
①活動指標	ア	m	46,151	44,000	43,000	43,000	42,000	42,000	42,000
	イ	箇所	19	17	16	16	15	15	15
②対象指標	ア	m	39,288	0	39,288	0	39,288	39,288	39,288
	イ								
③成果指標	ア	件	133	150	190	150	190	190	190
	イ	%	85.7	0	80	0	0	0	0
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
	一般財源	千円	3,800	2,730					
	(A)事業費計	千円	3,800	2,730	0	0	0	0	
人件費	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	
	正規職員従事人数	人	8	8	8	6	8	0	
延べ業務時間	時間	1,624	1,755	1,600	1,450	1,600	0		
(B)人件費計	千円	6,496	6,984	6,368	5,974	6,592	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	10,296	9,714	6,368	5,974	6,592	0		

総トータルコスト  
全体計画  
~ 年度

(期間限定複数年度のみ記載)

事務事業名	環境整備事業	所属部	都市建設部	所属課	建設課
-------	--------	-----	-------	-----	-----

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は22年度の後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 もっと、いろいろな人や団体に協力してもらい除草、浚渫箇所を増やせば成果が上がる
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他の方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 まちづくりに積極的な人及び団体と連携できるかもしれない
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 住民や団体の協力が得られれば可能
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 すでに、正職員以外での作業を行っている
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 要望があった箇所については、順に作業を行っている
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 簡易な維持管理、また地域の住民が主に使用する道路等は地域住民の協力を必要とした

## 3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						